

## 会 議 録

1 会議名

平成29年度 第6回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成29年度地域活動支援事業について（報告）（公開）

(2) 意見書の提出について（公開）

(3) 自主的審議に係る提案について（公開）

3 開催日時

平成29年8月30日（水） 午後6時00分から午後8時00分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：高宮宏一（会長）、川住健作（副会長）、村田敏昭（副会長）、石野伸二、伊藤三重子、牛木喜九、齋藤邦博、高橋敏光、竹内恵市、土屋博幸、永野起男、西条聖士、山口茂幸、吉村清正

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、槇島係長、小林主事

8 発言の内容

【小林主事】

・伊崎委員、桑山委員を除く14名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

【高宮会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：高橋委員、竹内委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

— 次第3報告(1)平成29年度地域活動支援事業について(報告) —

【高宮会長】

次第3報告(1)「平成29年度地域活動支援事業について(報告)」事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料No.1、No.2により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求める。

【石野委員】

整理No.14の事業は「適合しない」が4人いる。今後のため、お話しただけの方は「適合しない」とした理由を教えてください。

【高宮会長】

審査の際には、灰塚支部へお願いするのではなく、市へ要望を続けるべきという考え方もあったが、そういう点で適合しないとしたのかもしれない。

【石野委員】

資料No.2の中に、市は予算がないからできなかったと書かれていた。予算があれば市の方で行うということだから、地域活動支援事業では出さなくてよいということか。

【高橋委員】

カーブミラーの設置は市民安全課で扱っており、市に申請を出すと現地を確認し、

必要あり、なしを判断して取り付けている。予算がある、ないの問題ではない。新しい箇所以外はだいたい付いているはずである。

例えばのぼり旗は、活動するために要る品物である。カーブミラーは設置してそのまま、活動する道具ではないし手段でもない。ただ交通事故が少なくなればというだけであり、地域活動支援事業とは程遠い、別のものではないかと思い、そういう発言をした。

**【吉村委員】**

私も「適合しない」と書いた。申請者の肩書きは上越交通安全協会灰塚支部である。交通安全協会があり、協会費も払っている。その中で行うべきであって、地域活動支援事業には該当しないという考えである。

**【川住副会長】**

勘違いをしていたが、上越交通安全協会ではカーブミラーを取り付けることはしていないそうである。

**【吉村委員】**

啓発の看板だけか。

**【川住副会長】**

支部で集めた予算の中で取り付けるそうである。だから、灰塚支部なら灰塚支部が集めた中で、必要なところに立てる。上越交通安全協会そのものが立てることはないということだった。

**【吉村委員】**

青木交差点の北側、青木町内の集落入口付近の左側に、コンクリートで基礎をした鉄骨の大きい看板があるが、確か上越交通安全協会で立てている。ああいうものは上越交通安全協会を立てていても、カーブミラーは違うのか。

**【川住副会長】**

前回自分も勘違いしていた面があったので確認したら、そのように言われた。

**【吉村委員】**

標識でも何でもなし。ただの安全の設備である。

**【川住副会長】**

カーブミラーの設置は交通安全協会の支部か市の市民安全課のどちらかで行う。  
それで間に合わない場合は、地域活動支援事業を使うという感じである。

【吉村委員】

お門違いのような感じがする。

【川住副会長】

交通安全協会の上越支部で取り付けることはないそうである。

【吉村委員】

そのような考えで「適合しない」と書いた。

【石野委員】

それに関連して、灰塚支部なら灰塚支部で世帯に協力を求めて、賛同される方は会費を払っている。この間も千円集めたと思う。その中で足りないのなら、会費を50円でも100円でも増やすなど皆さんにお願いするべき。

#### —次第3報告(2)意見書の提出について—

【高宮会長】

次に、次第3報告(2)「意見書の提出について」、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料No.3により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求める。

【石野委員】

回答書の内容としては不採用というニュアンスだと思うが、最後に「学校運営協議会の場等でご協議いただければ」と書かれている。金谷区地域協議会としてはこういうことを出したが、黒田小学校の学校運営協議会で十分に検討してください、ということを伝えるべきではないか。最終的に市のホームページには載るが、この場の皆さんしか分かっていない。

【高宮会長】

では、地域協議会として説明に伺う。

【石野委員】

説明ないしは学校運営協議会の会長に書面を送るなどすればよい。

【高宮会長】

意見書と回答書を黒田小学校へお持ちして説明することでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

【高橋委員】

今さら変えることはできないが、平成30年に外壁等を大改修するときに多少考慮してほしいと発言したと思う。意見書にも回答にも、その辺りが全く書かれていないため、そのときにまた学校の方から聞いた方がいいのではないか。

【高宮会長】

黒田小学校へは私からそのように伝えることでよいか。

【石野委員】

小学校ではなく、学校運営協議会へ。

【川住副会長】

学校運営協議会は1年に3回だったか、決められた回数の会議がある。私ともう一名が運営協議会の委員になっているので、この回答について話し、もしそれに対して学校運営協議会の中で意見があった場合には、今の件を伝えたい。

【土屋委員】

今後のために質問する。「期待される」という文言が書かれているが、結局、市からの結論としては「話し合ってください」ということが書いてあるのか。

【石野委員】

「ご協議いただければ」と締めている。逃げ道を作っている。

【吉村委員】

要望には応えられないが、関係者の方で協議してほしいという話だろう。

【高宮会長】

黒田小学校の学校運営協議会がいつあるか教えてほしい。

【石野委員】

会長がこれを届けばよいのではないか。

**【川住副会長】**

学校へ届けて、学校から渡してもらうのもよい。

一次第4議題(1)自主的審議に係る提案について一

**【高宮会長】**

次に、次第4議題(1)「自主的審議に係る提案について」に入る。

前回の会議では、自主的審議事項は、金谷地区公民館について、金谷区の安全安心について、不法投棄についての3項目に絞り込んでほしいという意見があった。これについて、今後の進め方を正副会長で協議し、委員にお諮りすることとしていた。

正副会長で協議した結果を説明する。

- ・「金谷地区公民館について」と、治安の維持や治安の確保を中心とした「地域の安全安心確保について」を自主的審議事項とする。
- ・「金谷地区公民館について」を優先的に議論する。

なお、前回の会議では、「不法投棄」も自主的審議事項にするべきとの意見があったが、同じカメラ設置を想定した議論であったことから、自主的審議事項としては「不法投棄」も含め「地域の安全安心確保について」にまとめようと考えた。また、「地域の安全安心確保について」は、これまでの会議で「安全安心の確保」という趣旨で議論がなされていたことから、この題名にした。

一つずつ自主的審議事項とするか決めた後、優先順位を決めたい。

このことについて、質疑を求める。

**【高橋委員】**

安全安心に関して、LEDの交換事業については、各町内にパトロールをお願いしている。県外から入ってくる人たちや、交通の便が良くなったため日帰りで来る人たちが多くなっているため、夜間明るくして防犯パトロールをしている姿を見れば、犯罪にはつながらないだろうと思っている。

また昼間においては、各学校の下校時に迎えに出たり、防犯協会が配った「防犯パトロール」という車に貼るステッカーを、畑や山へ農作業に行ったりするときに、軽トラックなどに付けて走ってもらえれば、金谷地区の防犯、安全安心のもとになる。それを怠っている町内もあるため、その辺をしっかりとしてもらいたい。

今は防犯会長を辞めたが、当時の私の思いでそれを始めた。

**【高宮会長】**

皆さんも、防犯パトロールのステッカーが付いている車を見たことがあると思う。

**【高橋委員】**

不法投棄に関して、金谷地区は西側に山を持っているため山間地が相当広い。金谷地区振興協議会で、4月の南葉山キャンプ場がオープンする前に、県外からの大勢のお客さんをきれいなところでお迎えしようということで、今年の春も68名くらい集まってゴミ拾いをした。地元の町内会もそうだが、御殿山、平山辺りからも協力してもらい、相当な人数に集まってもらった。それから地元企業からユニックを提供してもらったり、路上でのトイレの車を用意してもらったりした。ひどいものは自動販売機まで投棄されていた。冷蔵庫、布団、ベッドは珍しくないというくらいの量だった。

それから上正善寺の人たちも頑張ってもらい、アジサイまつりに合わせて周辺のごみ拾いもされていて、非常に感心している。

向橋の奥や平山にも多少あるのだが、またボランティアを募って行えばいいと思う。金谷地区は広いため、主要道路だけは何とかしようという考えで、振興協議会も今、頑張っているところである。

**【高宮会長】**

他に質疑を求めるがなし。

それでは、自主的審議事項とするテーマについて、ひとつずつ採決をとる。

「金谷地区公民館について」を自主的審議事項にすることについて採決し、全員賛成により自主的審議事項とすることに決する。

次に、「地域の安全安心の確保について」を自主的審議事項にすることについて、採決をとる。高橋委員の説明を参考にしてほしい。

【高橋委員】

その時は市生活環境課からも5、6人来て協力してもらった。その際に、防犯カメラは電線がないから駄目だということで、2mくらいの金網を必要な場所に1キロ半くらい立ててほしいと話したが、豪雪地帯なので春になって傾いていたら問題にならないし、予算もないということで断られた。

【石野委員】

公民館は移設、新築という方向性で議論を持っていくと思うが、安心安全は最終的に何を意見として伝えるのか。あまりにも範囲が広い。絞るのか、不法投棄まで全部入れるのか。

【高宮会長】

それは自主的審議の中で決めていく。それはまた次になる。

「地域の安全安心の確保について」を自主的審議事項にすることについて採決し、賛成7名、反対5名。

【高橋委員】

先ほども言ったが、予算がないため取り上げてくれない。

【伊藤委員】

私は判断がつかなくて手を挙げていない。

【高宮会長】

どういうことで判断できないか。

【伊藤委員】

出してもしょうがない。それでも審議した方がよいのか。

【石野委員】

安全安心については、不法投棄と合体しているため私も賛成に手を上げたが、不法投棄を切り離すのであれば、安全安心はどのようなテーマで持っていくのかをある程度絞った方がいい。

【高橋委員】

不法投棄の量は知っているか。

【高宮会長】



分からない。

**【高橋委員】**

台所のごみを道路に置くことは不法投棄になると思うか。

**【高宮会長】**

そう思う。

**【高橋委員】**

ならない。

不法投棄というのは法律的に決まっている。この間の大雨で流出した窯業原料は不法投棄になる。量は、普通のごみで言うと5 t以上、少なくて3 t。一般の家庭ごみでそんなものはない。片付けてくださいと生活環境課に言うと、個人の屋敷内だから片付けられないと言う。

防犯カメラは先ほど言ったとおり、南葉山キャンプ場の通りは電線がないためできない。じゃあフェンスを付けてくれと言ったら、それも何千万円もかかり、そんなお金はないと。そのため出しても無駄である。私は反対の方には手を挙げなかったが。

**【石野委員】**

参考までに、不法投棄されているものを誰かが開けると、それは不法投棄ではなくなる。触った人の個人のものになってしまう。だから一切触ることができない。

**【高橋委員】**

それで通報したことがあるのだが、市生活環境課の方からは、一般の家庭の場合は警察に言うかどうか判断が難しいと言われた。例えば、御殿山町内であったことだが、病院の領収書やもらってきた薬などがたくさん入っているものの場合、5 tくらいないと不法投棄にはならない。産業廃棄物の会社が客からお金を取り、ごみを預かって山に捨てに行くような、利益が出る場合は犯罪である。

**【川住副会長】**

向橋の上流の儀明川ダム周辺は、ほとんど県の土地である。向橋のクリーン活動でゴミ拾いをしているのだが、がいしが大量に捨てられていたため、市と県の担当を呼んで、県の方で全部処理してもらった。その時に、今後は監視カメラが必要だ

という話が出た。その場所に合った防止対策が必要。工事中は大勢の業者が入るため不法投棄に来る人はいないと思うが、完成後は監視カメラといったものが必要になる。

今のところ上流部分はゴミがなく非常にきれいである。きれいなところにはゴミを捨てないということで、今動いている。目を光らせている。

**【高宮会長】**

皆さんの意見を聞くと、自主的審議事項とすることに7名の賛成があったが、取り上げるにはなかなかハードルが高い。

**【石野委員】**

安全安心の何をターゲットとしていくか。防犯的な部分でいくのか、前も意見があったように道路の監視カメラで行くのか。非常に範囲が広い。

地域が困っていることに対して、私たちが意見して行政の対応を求めていく。不法投棄が保留となったら、あとは地域の方が困っている課題は監視カメラか。

**【高宮会長】**

不法投棄は別にするか、あるいは防犯を中心にするか。

**【川住副会長】**

不法投棄は難しい面があるが、誰かがきれいにしないとどんどん重なって捨てられる。捨てられたものがどんどん重なっていくと、非常に難しくなってくる。我々のところは1年ごとに全部拾うため、新しいものは草の上にある。

地域協議会で扱うか、振興協議会などで扱うか、どちらが良いか分からないが、お互いに協力して地域をきれいに。きれいだということが観光の目玉になる。南葉山キャンプ場の道路がきれいだということが、キャンプ場の観光事業に非常に貢献していると思う。これは振興協議会だけではなく、地域協議会も協力して取り組んでいくべき仕事だと思うが、どうか。

**【高橋委員】**

不法投棄のパトロールは時々している。現行犯で見つければ、注意して持って帰らせている。

**【伊藤委員】**

誰がしているのか。

【石野委員】

生活環境課。市の担当者。

【高宮会長】

先ほど賛成が7名だったが、自主的審議事項として取り上げるか。

【石野委員】

自主的審議事項として取り上げたからといって、意見書まで行かなくてもよい。公民館の移転、新築等を優先的にするのであれば、その審議の後にした方がよい。

【高宮会長】

自主的審議事項にするかを決めるのは保留とし、「金谷地区公民館について」が終わった後に話し合うことで、保留でよいか。

【斎藤委員】

継続審議で。

【永野委員】

安全安心の問題は、なかなか結論が出る問題ではない。ただ皆で話し合いをしていくだけになる気もする。まず公民館を最優先に片付けた後で、また考えるという方向でどうか。

【高宮会長】

継続審議することでよいか採決し、委員全員の賛成により継続審議することに決する。

【土屋委員】

継続審議でよいが、どうしてもひっかかることが。今年1月のお子さんをお持ちの保護者の方が集まった話し合いで、帰り道が暗くなると子どもが怖がるなど、いろいろな意見があった。来年の1月にもう1回開催した場合、何かしら解決していれば町が良くなったという声が聞けると思うが、何も変わっていなかったら、同じ悩み、意見が出る。安全安心の話が進んでいけば解決していくのか、それとも話し合っても変わらないのか、お聞きしたい。

【石野委員】

防犯灯、街灯について、集落と集落の間の家が点在しないところは、基本的には市の方で設置されているが、それで十分かどうかは分からない。少ない部分があれば協議会として意見書を出すことも考えられるが、防犯灯の現状が分からない。

**【土屋委員】**

子どもがいる、いないもある。高田西にスーパーが建つと夜遅くまで子どもたちがいて大丈夫か、という話も出たが、実際は逆によかったという場合もある。その時の意見と現実が違う場合もある。

**【高宮会長】**

暗いため防犯灯をつけてほしいという意見があり、防犯灯をつけたところ、今度は明るすぎるという意見が出た。反対側の意見の人もいる。いろいろな意見が出てくる中において、日の当たるところがあれば、陰になるところもある。我々がそれをどうまとめていくかの問題である。例えば、児童の問題や不法投棄の問題を解消するために、防犯カメラを設置する、J C Vのカメラを利用するという結論になったが、良くしようとした反面、ということになる。それをひとつ捉えると、なかなか進まない。

安心安全は継続審議とすること、金谷地区公民館を優先的に審議することを確認し、委員全員の了承を得る。

自主的審議を進めるにあたり注意してほしい点について説明する。

- ・住民の立場に立ち議論してほしい
- ・市の諮問機関としての視点で意見を述べてほしい
- ・発言は簡潔に

自主的審議事項「金谷地区公民館について」の審議に入る。

最初に私から提案がある。現在の金谷地区公民館の状況を全員で知るため、次回会議は金谷地区公民館を会場としたいが、いかがか。

**【川住副会長】**

現状を見て判断するのが一番よい。一度皆さんで建物の中の構造などをしっかり見ていただくのがよい。私は賛成である。

**【高宮会長】**

今回の会議を金谷地区公民館で行くことを諮り、委員全員の了承を得る。

**【石野委員】**

現状はそれで分かると思うが、そのときに公民館の予約がどれくらい埋まっているかが分かる資料を一緒にいただきたい。

**【吉村委員】**

どういう性質の活動で、どのくらいの頻度で使っているかも分かります。直近1か月くらいだけでも。

**【高宮会長】**

分かった。

**【川住副会長】**

この後、高橋委員から話がある。

**【高宮会長】**

公民館の現状について詳しい高橋委員に説明をお願いします。

**【高橋委員】**

昨年10月に金谷地区振興協議会から、金谷地区公民館の金谷区内への移転新築について市に要望を提出した。

地域協議会が始まった年はいつか。

**【佐藤センター長】**

平成21年10月からである。

**【高橋委員】**

平成22年に私が自主的審議の提案を出した。金谷地区公民館は駐車場が狭く、当時30町内くらいあったが、集まっても車を止めるところがなく、中も狭いため利便性に欠けていて、相当年数が経っており耐震工事も恐らくしていなかった。

また、金谷地区公民館での健診でレントゲン車が入った際には、駐車場にヒビが入ってしまった。

その時は、大きい防火用水を潰して駐車場にしてほしいと市に話したが、市の防災課は多少残さなくてはいけないということで、半分残されて今も困っている。それと同時に、裏の方も舗装していただいた。その後、地域活動支援事業でふすまの

張り替えと畳の入れ替え、エアコンの設置をした。今でも事務所は暑いのではないか。

**【村田副会長】**

このあいだエアコンが入ったそうである。

**【高橋委員】**

そして、昨年10月に上越市へ移転要望を提出した。

最近の状況だが、社会教育課が行っている金谷地区の公民館活動というのがあるのだが、金谷地区に回覧板を回しても人の集まりが悪い。他の地区から集まってくる。金谷地区では本当に人気がないのだなど。

今年の公民館活動を御殿山町内会館でさせてもらえないかと社会教育課からお願いがあり、初心者向けの囲碁教室を今年の6月2日と9日に御殿山町内会館で実施したところ、それなりの人が集まり成果を上げている。

それから、夏休みの間に子どもたちが勉強や遊びをする「夏休み子どもつどいの広場」が、7月28日、31日に御殿山町内会館、8月22日、23日に平山ふれあい会館で実施された。昨年は参加者がいなかったが、いい成果を上げた。公民館の方は大変喜んでいて、社会教育課には、あわせて公民館の移転のことをもそれとなく話しておいたが、通じたかどうかは分からない。公民館活動をする場所でさえ、悪いという考えを持っているのであれば、なおさらのこと準備を進めてもらいたい。

それから公民館活動ばかりではなく、社会福祉協議会では「地域支え合い事業」として「すこやかサロン」という活動をしているが、福祉交流プラザでは人の集まりが悪いということで、出前サロンをしたらどうかと提案をした。始めに灰塚の町内会館、それから下馬場、上正善寺、中田原の町内会館、最近だと御殿山の町内会館、今後の予定としては10月17日に平山の町内会館です。出前サロンをすると相当の人が参加する。福祉交流プラザでは5人や10人だが、それが20人、30人になる。これだけ成果が上がっているということは、やはり金谷地区公民館は金谷区内に必要ではないかと考えている。

それから、先ほどの市への要望に移転場所を書いていなかったことから、場所について市から聞かれた。振興協議会で6人くらい、市議会の人を入れて9人くらい

で行ったが、上越高田 I C の入り口の向橋パークアンドライドは、約 1 千坪くらいある市の土地であり、そこがよいと話してきた。口頭で話ただけで書類には残っていない。

金谷地区公民館は名前ばかりで金谷地区にないのは切ない。皆さん考えてほしい。

**【高宮会長】**

高橋委員の説明について、補足等の発言を求める。

**【齋藤委員】**

公民館は早く閉まってしまう。職員は市の委託か何かである。

**【村田副会長】**

午後 10 時まで。公民館主事は午後 4 時 30 分で終わり、夜は地元商店で鍵を管理している。

**【高橋委員】**

町内会長会で何度か夜に利用した。

それから、利用団体は約 50 団体、金谷地区の町内会長会のように年 2 回しか利用しない団体もあるが、月曜日から土曜日まではほとんど毎日予約が入り、たまに日曜日もあるそうである。

利用する人たちは、ほとんど本町通り、仲町、寺町通り、裏寺町の人で、平山や御殿山も多少あるが、まちの人たちにはかなわない。

私の考えだが、大手町の高田地区公民館がなくなると、オーレンプラザは不便なのでオーレンプラザに移る方は何組もない。金谷地区公民館へ移動される団体が多く、申込みがいっぱいになると思う。そうなる、何のための金谷地区公民館なのか。高田地区公民館の分館のようになる。おかしい。

利用は約 50 団体あり、毎週利用しているところや週に 2 回利用しているところ、いろいろだそうである。細かい数字は出すのに時間がかかるということで教えてもらえなかった。

**【高宮会長】**

午後 10 時まで開いているそうである。

**【村田副会長】**

上越市の公民館は、高田区にあっても金谷区にあっても、市民は区分けなくどこでも利用できると聞いている。したがって、高橋委員のとおり、オーレンプラザへ行くのは遠いため、金谷地区公民館に本町や寺町の方々がかなり移動しているそうである。だから、高田区の人でも金谷地区公民館をいくらかでも利用している。金谷区の人だけが優先して利用できるということではない。「金谷区の利用が少ないのではないか」と言っても、「利用されないからそうなっているのではないか」と言われるだろう。

公民館の方に利用状況等を確認したが、高橋委員のとおり、約50組も頻繁に利用している。それはすごいことである。駐車場は狭いが、ダンスをしたり詩吟をしたり。

9月29日からオーレンプラザがオープンするが、使い勝手が悪いような話も聞く。だが、あの場所に建ててほしいと要望したのは本町の人が多かったとも聞いている。どんな利用状況になっていくか、様子見が必要。

要は、たくさん人がいるところに公民館があればそこを利用する。人のいないところに公民館を持っていても、逆に利便性は悪い。

それから、公民館主事の勤務時間は午前9時から午後4時半くらいだそうである。そのあとの時間の利用については、金谷区の場合は近隣の商店がしている。他の区は地域の人にお任せして管理しているのではないだろうか。

#### 【高宮会長】

まず課題について吉村委員から意見を聞いていく。そのあとに全体で意見を聞く。

#### 【吉村委員】

高田区の人にとって便利ということに遠慮する必要はない。金谷区地域協議会として統一意見を出すわけだから、私たちが一番使いやすい、一番いいところへ、新しい大きいものを建ててほしいと。誰が来て何を使うというのはその先の話であり、頓着する必要はない。徹底的に金谷地区公民館の老朽化と使い勝手の悪さ、特に冬期間の駐車スペースの無さを前面に打ち出しプレゼンテーションしていくべきだ。

#### 【山口委員】

約50団体が利用し、年間ではなく毎週固定して使っているため、空きがないと



思う。金谷区のまさにメイン通りで立地条件のよい上越高田 I C 周辺に、耐震性と利便性のあるものを。今の公民館はトイレもよくない。皆が車で来る土地柄なので、駐車スペースも大きくする。次回の地域協議会は、乗合いで行かないと満足に止められないと思う。そういうことを考えて、まず建築を。利便性があれば当然活用される。以前、金谷区の観光について、野菜を販売する施設が必要との意見が出たが、そういった機能も含めて考えていけばよい。まずはどうすれば我々が願望している公民館が金谷区に建つかを考えながら進めていかなくてはならない。

#### 【西条委員】

金谷区の特徴として広いので人も集まるため、広い駐車場と大きい建物というイメージがある。また、場所も辺鄙（び）だといろいろ困る。先ほど意見があった上越高田 I C 周辺は結構広い土地が余っているため、そういうところに建てることができれば、車を使う世代も増えているのでそういう人たちが集まり、逆に利用が増えるのではないか。まだ具体的にどうこうというのはないが、夢は大きく持って進められたら。

#### 【永野委員】

現在の建物は近々取り壊さなければならない状況にある。利便性を考え、きちんとしたところで広々とした良いものを作った方がよい。

#### 【土屋委員】

単純な一言だが、早く建ててもらいたい。私は地域協議会の委員をしているからあそこにあると分かるが、金谷地区公民館という名前だからと言って、金谷の人は行こうと思わないし使おうとも思わない。当然近いところや利便性のよいところを使うと思う。逆に金谷の名前を使わせていること自体がどうなのか。

#### 【竹内委員】

私は今年から金谷地区公民館の運営委員になった。運営委員は、公民館活動の講師をされるような女性の方が3名くらいと、老人会の役員の方で、今まではもう一人誰かいた。今意見がたくさん出されたようなことを、公民館そのものが考えるような状況になっていなかった気がする。

また、公民館主事の方は、今年は2年もったが毎年交代していた。見附で開かれ

た県の公民館大会では、事業を一番考えなくてはいけない人が毎年交代していたのでは事業が成り立たないという話を聞いた。公民館主事は何年もしてもらわなくては地域と一緒に活動はできないという意見も出ていた。また、場所を貸すのは公民館活動の本来の趣旨ではないとも聞いた。

今回は滝寺の方が老人会の代表で運営委員に入っている。公民館が何をしているのかよく分からない方が運営委員になれば、1から勉強し直さないと、新しい公民館どころではない。

9月5日に第1回目の会議があるが、公民館長や社会教育課の担当者も来ると思うため、何か要望があるかと言われたら、公民館を新しくして、駐車場も大きくしてほしいと話す。

そういう活動のほか、町内会長会やこの地域協議会などいろいろな場で盛り上げていき、最後はひとつになるような形で持っていくべきではないか。

#### 【高橋委員】

今まで話したとおりである。全て話した。

#### 【齋藤委員】

約50団体が日替わりで、利用頻度が高いという話があった。いつも空いていないのでは一般の方も使いにくいいため、ある程度スペースが必要。かといって、あれもこれもとなると大変になるので、絞った大きさが必要になる。

建物が古いためしょうがないが、下で会議をしていると上でバタバタしている。軽運動のスペースを別個に作るなど、いろいろ配慮をした新しい公民館が必要。どういう形になるかを我々が決める部分は少ないと思うが、意見を上げるときには、このメンバーだけでなくてもよいが、訴えるような、聞いてもらえるような意見書づくりをしていかないといけない。

#### 【牛木委員】

数年に一度しか利用していないが、駐車場が狭すぎる。金谷地区公民館が会場ときは、早めに行かないと駐車場が取れないと考え、間に合うようになっている。

いろいろな意見を聞いたが、確かに狭いし、2階でダンスをされると音が苦になったりするため、ここら辺で少し広々した新しいものを。場所もあるようなので、

是非早めに移転新築してもらいたい。

**【伊藤委員】**

利用者の立場から言うと、金谷地区公民館の部屋を借りようとしても、1か月前や1か月半前でないと部屋が取れない。市民プラザも取れない。急に決まった会合で部屋を探すのは至難の業。また、駐車場が狭いため、お母さんたちを呼ぶときは「狭いから嫌だ」という意見が必ずある。市民プラザも駐車場が狭くなってしまった。それで、福祉交流プラザの方が広くていいとなっている。そんな中、金谷地区公民館を借りようとは私の頭の中では全く出てこない。

また、公民館は他の区域の人も集めてもいいと聞いたので、新しいものが早くできることを。住んでいる近くにできれば、集まることももっと簡単になる。

**【石野委員】**

総括すると、利便性が悪い、老朽化が激しい、利用者が固定され長期間予定が入っているため新規の方が入ることができない。使える部屋は2階の部屋と下の和室の2部屋だけである。台所みたいな部屋はちょっとした会合をするくらいのもので、実質的に会合等をするスペースは2つしかないため、予約がいっぱいで空いていないのが実情である。

移転ということはどうたわなないでよい。新規でそういう建物を見つけるなどしてほしいというのが一番の切実な思いではないか。これは金谷地区だけではなくて、高田地区の利用されている方も同じだと思う。

なので、次回の会議で、今の稼働率などの実態を公民館の担当者から聞けばよい。

**【川住副会長】**

現状や課題がいろいろ出てきた。

今の場所では駐車場を広げることは無理である。金谷区は昔と変わり、山麓線の近辺であれば10分も走れば隅から隅まで行くことができる。山麓線沿線で適当な場所があれば、そちらへ移転するのが一番の解決策ではないか。

小学生の保護者の話を聞いた時にも、集会場がないなどいろいろな意見が出ていた。そういったものや、売店、野菜売り場を併設できれば、問題がある程度絞れて、金谷区を中心という役目を担えるのではないか。

私たちの町内でも、町内会館を建てるべく広場のようなものを作ったが、雨の日や暑い日は、子どもはほとんど外で遊ばない。建物の中で遊ぶときは集まるが、外で野球したりサッカーをしたりするのは1年に1回か2回である。自由に遊べるように全部ネットを張ってあるが、ちょっとキャッチボールする程度で、決まった人しか来ない。

そういうことで、集会場的要素を兼ねた耐震のしっかりした建物を建てる必要がある。

#### 【高宮会長】

金谷地区公民館は金谷地区の方だけが使うのではないという、公民館の利用方法は分からない。

それから伊藤委員のとおり、どの公共施設もいっぱいである。だから今日この行事をしたら、来年の予約を入れないと駄目である。なぜかというと無料だから。各町内会長もそうだと思うが、年間の行事が決まればみんな予約しているはずである。そうでないと、明日、明後日、あるいは1か月先だともう空いていない。

他に意見を求める。

#### 【石野委員】

まとめてもらえばよい。

#### 【高宮会長】

金谷地区公民館という名前でも金谷地区の方だけが使うというものではない。結局、最終的にはいかに早く予約をしていくか。行事の担当者が早め早めで計画を立てていかないと駄目である。別のところに建っても今と同じである。駐車場が広くなって利便性が出てくれば、次から次へ来る。その辺をどうするかという問題も解決策が必要。

#### 【高橋委員】

金谷地区公民館だから金谷地区の方が使う、使わないということは問題ではない。金谷地区の公民館事業をする際に、金谷地区へ回覧板を出してもあそこへ集まらない。平山や御殿山の町内ですると、ものすごく人が集まってくる。だから、早く金谷区に作ってほしいと。教育委員会の社会教育課の人にはそう言っている。公民館

主事の方も、私も推薦しますと。

**【高宮会長】**

確かに地元ですれば多くの方が参加できるが、今度はその申込みをどうするかという話になってくる。

解決策について意見を求める。

**【石野委員】**

移転ではなく、新築ということでスペースを考える。どこへ移転というのは私たちが言う必要はないことで、行政が決めることである。建物を充実してほしいというのが私たちの意見書になると思う。解決策は、部屋を5部屋、6部屋作って大々的に新築すること。今の建物で解決策はない。

**【齋藤委員】**

公民館を作ることが解決策である。

**【竹内委員】**

公民館のところは昔の金谷村の役場だった。あの辺全部が大貫の番地だった。

**【高橋委員】**

線路から西側、高田別院も全て金谷。

**【竹内委員】**

時代の流れで公民館のある場所が高田区内になったため、金谷区内に作って欲しいというのが要望。

**【永野委員】**

老朽化の問題も出てくるだろうし、場所の問題も出てくる。それから利用が既に飽和状態になっている。あっちもこっちも八方塞がりのような状況のため、早く作ってほしいという一点張りである。

**【西条委員】**

永野委員のとおり、早く作ってほしいと。

**【山口委員】**

同じく。

**【吉村委員】**

確認だが、地域協議会の仕事は、これを整理して市に要望書を出すことか。

**【高宮会長】**

意見書を出すこと。

**【吉村委員】**

であれば、今一通り出た意見を全部まとめ、分かりやすく練り込み、書面にして市へ上げることが解決策で、それを一刻も早く、少しでも強力に推していくことが解決策だろう。

**【高宮会長】**

それは、課題、解決策、その効果を文面にして出すことである。そのために今、皆さんから意見を聞いて協議いただいている。

**【吉村委員】**

今の駐車場は狭く冬期間はさらに利用しにくい、建物が老朽化して使えるスペースが少ないということである。

**【川住副会長】**

現状や課題等を考えると早く作ってほしい、というのが皆さんの考えだと思う。早く作るためにはどういう方法があるのかと考えると、建物を建てるときに一番の問題は、「どこに」ということ。センター病院と同じで、候補地をある程度挙げて、皆さんから候補地を考えてもらい、皆で見て判断する。建物の構造などについては、ここで話す問題ではない。現在の公民館を確認するのと同じように、せめて場所くらいは皆さんが自分の目で確かめ、山麓線のそばでここなら10分で行けるなど、皆さんが納得できるような場所を選定すべき。それが決まれば、今度は町内会長会や振興協議会で具体的な要望を出しやすくなる。

**【石野委員】**

場所は特定できない。例えば、金谷地区の中心部に持って行ってほしいという程度であれば、まだ意見書として出せる。そうでないと要望書のようにになってしまう。

**【川住副会長】**

要望書は、別の組織から市へ上げられる。

**【高橋委員】**

参考にこういうところがある、と。

**【齋藤委員】**

意見書は、新しい場所で公民館を建設、という形でよい。

**【川住副会長】**

それはよい。ただ、場所は言えない。

**【高橋委員】**

建物の中について多少要望は出せると思う。例えば、シャワー付きのお風呂や、野菜を売る場所。農家の人たちが作った野菜を畑に捨てているのであれば、ここで売った方がよいなど。

**【高宮会長】**

効果まで話が出た。

地域協議会では具体的な場所を示すのではなく、早期にという内容で正副会長が意見書案を作ることを諮り、委員全員の了承を得る。

意見はまだ出尽くしていないとは思いますが、皆さんの意見をまとめ、次回の協議会  
のときに文書にしてお見せしたい。

**【石野委員】**

次回の9月の会議で意見書を検討するが、7月末に出した意見書の回答が1か月  
で来ているので、次の会議の直後に出せば10月末には回答が来るか。

**【高橋委員】**

駄目なものは回答が早い。予算組みが必要なものは回答が遅い。

**【高宮会長】**

早く回答をもらいたいのは分かるが、やはりじっくり考えて。文章には書かない  
が、金谷区に持ってきてほしいというのが、金谷区地域協議会の意見である。今後、  
金谷地区振興協議会等と協力し、上越高田IC周辺に持ってきてほしいという話に  
なると思う。そんなに焦る必要はない。

**【石野委員】**

11月、12月末くらいに市の予算計画がある程度確定するため、その前に意見  
書を提出した方がよい。来年度の調査費などに反映するには、早くアナウンスする

べき。そうしないとまた一年遅れる。

**【高宮会長】**

結論が来年度に出てくる話ではない。

**【石野委員】**

建てるのは先だが、そういう意見書が上がっているということのを向こうに提示するべきではないか。

**【高宮会長】**

それは金谷地区振興協議会が行っており、市役所は見ている。今度は、地域協議会として意見書を出していく。

意見書の提出は早い方がよいということだが、9月に意見書を検討し提出することとするか。そうするなら9月に意見書案を提示する。

**【佐藤センター長】**

意見書にまとめるにしても、どういう効果があるか等の意見がないと、会長たちがまとめるのも難しいと思われるがいかがか。

**【高宮会長】**

課題の中で、駐車場のことが出た。

**【佐藤センター長】**

それは現状、課題だと思う。

**【川住副会長】**

効果についての意見も挙がったのでは。

**【石野委員】**

効果については、意見書の中にうたわれる部分があると思うが、別紙で出すわけではないだろう。

**【高橋委員】**

昨年まで参加者がいなかった公民館事業が、場所を変えて実施したら参加者が増加した。これは効果である。

それから社会福祉協議会で行っている「すこやかサロン」は、福祉交流プラザでは集まりが悪かったものが、出前サロンで各地へ回ったら参加者が増えた。



そういうことを金谷地区の中でできれば、目に見えて効果が現れる。金谷地区の住民の参加者が増える。

**【村田副会長】**

だが、それは各々の地区の町内会館で実施したから増えるということであって、金谷区内に公民館ができたから増えるとは断定できない。

**【吉村委員】**

「見込まれる」でいいのではないか。

**【村田副会長】**

近いから、大勢の人が来る。

**【高橋委員】**

「すこやかサロン」の場合は他の地域からも来る。あれは人数が多い。

**【高宮会長】**

灰塚町内会館での出張協議会の際に、高齢者の方からこういう意見が出た。「すこやかサロン」の会場まで来るのに、自分で運転できないためタクシーを利用して来る。タクシー券をもらっているが、1万9千円しかない。「すこやかサロン」に使うよりも病院等に使わなくては駄目で、利便性を考えるとここでは遠いため、もっと近くにしてほしいという意見があった。

例えば上越高田 I C 周辺にできたからといって、皆が車で来ることはない。遠くの方は、歳を取ると車で来ない。来るのはその近辺の方になる。御殿山や灰塚で「すこやかサロン」を実施したときは、その近辺の方が車を使わないで来ることができたのだろう。

**【石野委員】**

地域の活性化が効果。

**【高宮会長】**

活性化にはつながる。

ここまでの委員の意見をもとに三役で意見書の案をまとめていくということではよいか諮り、委員全員の了承を得る。

—次第5 事務連絡—

【高宮会長】

次第5「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程

第7回地域協議会：9月26日（火）午後6時 金谷地区公民館 大会議室

金谷地区公民館は駐車場が狭いため、相乗りをお願いする

- ・浦川原区地域協議会意見書（写し）配布
- ・高田区地域協議会意見書（写し）配布
- ・ニュースレター「創造行政」配布
- ・南部まちづくりセンターの住所等変更のため名刺希望委員に再配布

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求める。

【石野委員】

昨年は、冬期間の開始時間が15時からとなっていたが、できればずっと18時にしていただけないか。

【高宮会長】

次回の会議で審議したい。

【土屋委員】

確か今年の秋口くらいに上越地域医療センターの場所が決まると思う。病院があるなしでまちづくりが変わる。今、どういう状況か知りたい。分かる範囲で教えてほしい。

【高宮会長】

新聞等に出ているが、読んでないか。

【土屋委員】

分からないから今聞いている。

【高橋委員】

審議中だから、途中で発表しないだろう。

【土屋委員】

金谷区としては何もせずに結果だけ待つのか。

【高宮会長】

地域協議会としてはしない。金谷地区振興協議会からは行っているはずだと思う。

【高橋委員】

金谷地区振興協議会から全町内の町内会長、土地区画整理事業の会長と地区代表で要望書を出したのは5月である。

【吉村委員】

センター病院が優良病院ということで国に表彰されたことで、4、5日前に祝賀会があったが、その時は一切その話は出なかった。

【高宮会長】

現在地域医療センター病院がある周りの町内会長が、今の場所で改築をお願いしたいと。他には、金谷と和田地区が。ただ私たちは過熱しないようにしている。ただ、直江津など別の場所にといいことはないと聞いている。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課  
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。